

かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第15号 平成28年12月発行



寒い冬、図書館で楽しく、あったかく！

亀田図書館内の「子ども図書室」には、お子さんの大好きな本がたくさん！親子で楽しめるさまざまな取り組みも行っています！



子ども図書室

子ども図書室には、お子さん向けの本が約2万冊そろっています。また、「おはなしのへや」も親子での読み聞かせなどにご利用いただけます。

赤ちゃんタイム

毎週水曜日午前10時～午後1時は赤ちゃんタイムです。赤ちゃんや小さいお子さんとご家族が、気軽に図書館をご利用いただくための時間。多少にぎやかでも大丈夫です。



子育て応援コーナー

子ども図書室内に子育て応援コーナーがあります。子育て本などお父さんお母さんに役立つ資料を取りそろえています。



ご存じですか？

- ベビーカーがカウンター脇にあります。お気軽にご利用ください。
- 0歳の赤ちゃんから貸出カードを作り、お一人10冊（視聴覚資料は2点）まで借りることができます。



読み聞かせボランティアが子どもと本の出会いを応援！

亀田図書館では、子どもと絵本が大好きな5つのグループが定期的に「おはなしのじかん」を行っています。



交流会の様子

この9月から10月には、当館で「読み聞かせボランティア基礎講座」を開催し、第4回の交流会では先輩のみなさんから活動の様子をうかがいました。講座を受講した18名のうち9名の方が、グループ活動に参加されています。

年末年始の休館

12月29日(木)
～1月4日(水)まで

ご家族で
どうぞ！

おはなしのじかん
冬休みスペシャル

1月8日(日)
午前11時～11時40分
亀田図書館おはなしのへや

蔵書点検のための休館

2月15日(水)
～22日(水)まで



おはなしのじかん開催中！

絵本の読み聞かせやおはなしが楽しめる「おはなしのじかん」。子ども図書室おはなしのへやにて、下記のとおり実施しています。

【赤ちゃんタイム】

ボランティアによるおはなしのじかん
第2・4水曜日 午前10時30分～11時

【乳幼児から】

ボランティアによるおはなしのじかん
第1・3土曜日 午前10時30分～11時

職員によるおはなしのじかん
第4日曜日 午前11時～11時30分

スタンプカードもお楽しみ！

「おはなしのじかん」に参加すると、スタンプを1つ押すことができ、5つ集まると、すてきな記念品をお渡しします。集めてみてくださいね！



スタンプカード(見本)

亀田図書館、読書週間行事で大盛況！

文化講演会を開催しました

「私の俳句観」 講師：若井新一さん

11月23日(水・祝)に文化講演会を開催しました。南魚沼市で農業を営みながら長年俳句創作と指導にご活躍の若井さんから、自身の俳句との関わりや俳句作りの大切なポイントなどを、豊富な見識と体験を盛り込みわかりやすくご講演いただきました。66名の参加者が、皆さんくつろいだ雰囲気の中で耳を傾けていました。70歳代の方達に交じって、小学生の女の子も熱心に講演に聞き入っていました。実作者による講演は、俳句作りを楽しむ参加者にとり、身近で参考となる会だったようです。

開催協力：亀田俳句の会、亀田地区公民館、江南区郷土資料館



ユーモアを交えて俳句観を語る講師



郷土資料館の掛け軸、色紙など俳句関係資料を展示しました

俳句関係資料を寄贈していただきました！

～ 高野素十関係資料ほか37点 ～

このたび、岐阜県にお住まいの安田絹さんから寄贈していただいた、高野素十直筆のはがきや俳句関係の資料など37点について、2階俳句特別コレクション室にて展示を開始しました。

安田さんは素十のお弟子さんで、新潟の俳句関係者とも親交が深く、亀田図書館で素十をはじめとする俳句関連資料を収集保存していることを耳にされ、お寄せくださったものです。

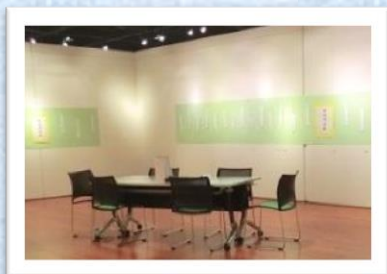
この資料は、昭和20年当時の「ホトトギス」など大変貴重なもので、普段はガラスケース内に展示しています。手にとってご覧になりたい方は職員までお知らせください。

たかのすじゅう

高野素十：高浜虚子に師事。虚子の唱えた「客観写生」の体現者といわれる。新潟医科大学助教授として新潟市に赴任。中田みづほらが亀田町で創刊した「まはぎ」に参加した。



☆☆ 中学生俳句作品展を開催しました ☆☆



会場：江南区郷土資料館

11月3日(木・祝)から11月24日(木)にかけて中学生俳句作品展として、江南区内中学校6校の3年生が詠んだ95句を展示。子どもから大人まで、多数の来場者に瑞々しさあふれる俳句をお楽しみいただきました。



中学生の素直な感情が伝わってきて楽しい。

自分も中学生になったら俳句を詠んでみたい！

思春期の頃を思い出した。

そのほかの読書週間事業

○雑誌リサイクルフェア

11月20日(日)
午前9時半～11時半。

146名の来場があり、雑誌784冊、図書300冊を市民のみなさんにお譲りしました。

○おはなしのじかんスペシャル

10月29日(土)から11月27日(日)までの間に10回実施。合計92名の方が絵本の読み聞かせや昔語り、紙芝居を楽しみました。

第2回「まちゼミ in かめだ」が開催されました



とは……？

- ◎お店の方が講師となって、専門知識やプロのコツ、趣味のことについて無料で教える少人数制のミニ講座です。
- ◎愛知県岡崎市の商店街で 2003 年に始まり、亀田商店街で行う「まちゼミ in かめだ」は今回で 2 回目です。
- ◎お客様の役に立つことで「お店」と「まち」のファンづくりを目指す取り組みです。

亀田図書館もタイアップ!

江南区の図書館として、亀田図書館も「まちゼミ in かめだ」に全面協力! ゼミの 37 のテーマのうち 8 つを取り上げ、関連図書を紹介するブックリストを作成。特設コーナーにて紹介図書の展示とブックリストの配布を行いました。



※ブックリストは
継続して配布中!

作成したブックリスト



今年の様子とは?

- ◎10月22日(土)から11月25日(金)まで「まなぶ」、「つくる」、「きれい」、「たべる」、「健康」の5カテゴリで37テーマの講座が開講されました。
例)・亀田縞で布遊び
・茶道の世界を覗いてみませんか

- ◎全講座合わせて約 250 名の参加があり、「楽しく有意義な時間だった」「プロの方法を学べた」と大変好評だったそうですよ。



茶道の講座の様子

ブックリストの一部をご紹介します!

『感動する米の食べ方、炊き方』

日経ホームマガジン(2016年刊)

お米がおいしい季節がやってきました。毎年全国で、続々と新品種がデビューしています。土地や作り手によって、味も様々! 今年は、あなたにぴったりのお米を、見つけてみませんか?

(講座名: 教えます! 美味しいごはんの炊き方と食べ比べ)

『亀田の歴史「こぼれ話」』

旧亀田町(2005年刊)

平成7年から10年間に渡って「広報かめだ」に連載された三村哲司さん(旧亀田町郷土資料館長)の歴史散策記事をまとめた1冊。本書の「亀田の機業」の章で、亀田町の近代化を支えた亀田縞の歩みについて、図や写真も使ってわかりやすく解説しています。

(講座名: 亀田縞で布遊び)

中学生が図書館の仕事を体験!

10月12、13日に江南区の亀田中学校2年の生徒さん3名が職場体験を行いました。

フィルムコーティングの体験では、本とフィルムとの間に空気が入ることが多いのですが、上手にコーティングをしていました。

10月26、27日は東区の東石山中学校1年の生徒さん4名が職場体験を行いました。

朝早くから電車とバスを乗り継いで来ましたが、元気にカウンターでの貸出・返却や、本棚へ本を戻す作業をしました。

平成28年度、亀田図書館では4校、合計13名の中学生が職場体験活動を行いました。

カウンターでの本の返却の様子



カウンターでは、お客さんがたくさん来てとても大変だった。

時期	職場体験を行った学校
7月	高志中等教育学校・西川中学校
10月	亀田中学校・東石山中学校

俳句の窓 第2回

地域の俳人・田村紅子さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介させていただきます。

豊年の 田に一礼し 刈りはむ
玉木 豚春 とんしゆん

黄金色に稔った田に先ず一礼をして感謝の心を捧げている姿に心打たれ出来た句。亀田諏訪神社の奥に有志により句碑が建った。

雪明かり 雪暗がりの 傘貼場
亀山 其園 かきはりば
きその

作者は女性俳人で全国的に有名である。家業の傘貼の句。雪で暗く感じたり明るく感じたりした仕事場。五頭山麓に句碑がある。

田村紅子さん*本名田村和子。亀田出身。亀山其園(高浜虚子の弟子)に師事。俳誌「雪」「玉藻」同人。「鷗」副主宰。亀田図書館協議会委員として図書館運営に協力。著書：『紅萩』『菊日和』『菊溢れしめ』(句集)



*** おすすめの本 ***

村上海賊の娘

和田竜/著 新潮社(2013)

織田信長と戦う大坂本願寺の陣営は、信長の兵糧攻めに苦しんでいた。兵糧入れを毛利家に頼ることにした。毛利家は海賊・村上武吉に依頼、武吉は娘の景を毛利家の水軍、児玉就英に嫁がせることを条件に加勢するとした。

5月、織田方は木津砦を攻撃する。天王寺砦が手薄になると、鈴木孫市は総攻撃を掛ける。本願寺から1万2千人が出て、天王寺砦を包囲してしまう。5日後、信長が助けにくる。8月17日、木津川口海戦、村上海賊と真鍋海賊が交戦。戦いを夢見ていた景も七五三兵衛も必死に戦いに挑む。

七五三兵衛はエネルギーでカッコイイ。景は醜女だが、スゴ腕だ。そして生真面目だ。二人は愛すべき人物だと感じた。

文：村山広栄さん
(亀田図書館協議会委員)



サンタクロースになるひ

種村有希子/作 小学館(2015)

サンタクロースになりたいめいくんが、クリスマスの前夜、念願かなってサンタさんの助手として三人兄弟の家にプレゼントを渡しに行くお話です。そこで、サンタを待ち構えていたはるちゃんと素敵な出会いを果たします。二人の楽しいやりとりがやわらかいタッチの絵で描かれています。自分の家にもどんなサンタクロースがくるのか、楽しみになるような絵本です。

12月からの児童のテーマ展示は「冬を楽しもう!」。本書をはじめ、いろいろな本をそろえてお待ちしております!

(亀田図書館・飯島)



「かめだ図書館だより」第15号・平成28年12月発行(年4回発行)

編集・発行 新潟市立亀田図書館(新潟市江南区文化会館内)

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話：025(382)4696 FAX：025(381)8003

ホームページ：http://www.niigatacitylib.jp

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp